

科目名	法思想史	
担当者	長谷川 史明 / HASEGAWA, Fumiaki	
科目情報	法律 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	西洋の法思想史を扱う。特に古代ギリシアのプラトンとアリストテレスの思想について解説する。
	到達目標	(1) 西洋法思想史の概略に関する基礎的知識を習得する。 (2) プラトンとアリストテレスの考え方の違いについて基本的な事項を理解し、簡単に説明できるようにする。
授業計画	(1) この講義の概要説明 (2) 法思想史とはなにか (3) 西洋法思想史のながれ① (古代～中世) (4) 西洋法思想史のながれ② (中世～近代) (5) 西洋法思想史のながれ③ (近代～現代) (6) 古代ギリシア哲学の概要 (7) プラトンの思想① (概要) (8) プラトンの思想② (イデア論) (9) プラトンの思想③ (国家論・正義論) (10) アリストテレスの思想① (概要) - (11) アリストテレスの思想② (倫理学) (12) アリストテレスの思想③ (国制論) (13) プラトンとアリストテレスの思想の比較 (14) プラトンとアリストテレスの思想の今日的意義 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	※事前・事後学習としては、1回の講義につき、約4時間読書することを標準とします（目安としては、15回の講義期間内に、新書版の本を10冊程度読了する）。 詳細は講義時間に説明します。
使用教材・参考文献	【教】講義はプリントを使用して行う。 【参】参考文献は、講義時間中に紹介する。	
成績評価方法と基準	レポートによって評価する。プラトンとアリストテレスの思想の違いが説明できるかどうかを評価の基準とする。なお、講義の最後に「学習報告（この講義を通じて学んだこと）」を提出する。	
備考	世界史（西洋史）及び西洋哲学史の基礎知識を必要とする。関連する専門科目としては、法制史、法哲学、思想史概説、宗教思想史、などがある。	